

# あらしき通信

2019年07月01日発行

(株)アラキ工務店 編集・発行 荒木 勇

〒 615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 [www.kyoto-araki.jp/](http://www.kyoto-araki.jp/)

Fax 075-872-0223 [info@kyoto-kozai.com](mailto:info@kyoto-kozai.com)



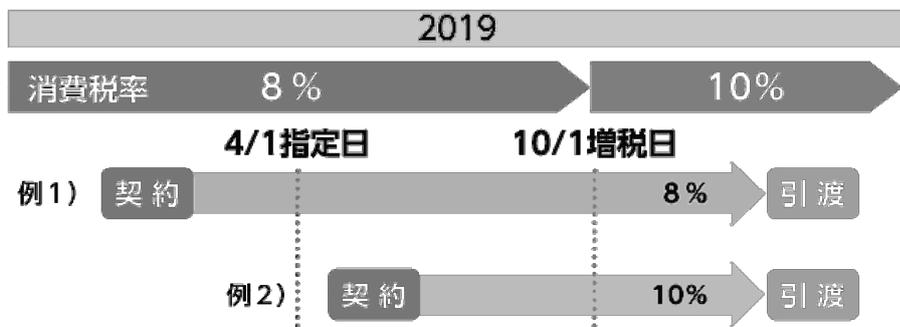
## 消費税の値上げと共に、建材の値上ラッシュが続いています

10月からの消費税の値上げが現実味を帯びてきました。建築工事は総額が大きいので、2%といってもばかになりません。100万の工事だと2万円。家族でステーキ食べに行ってもお釣りがくる計算です。

それに加え、さまざまな建材の値上げが発表されています。今年の春から10月にかけて、Panasonic,LIXIL,TOTOいずれも相次いで3%から5%あがっています。一斉に値上げではなくて、時期をずらしているのがちょっとアヤシイ。いずれも、輸送コストが原因と言われていますが、本当かな？ 新建材だけでなく、板金・襖紙・断熱材などもあがりつつあります。まだ値上げ前の

資材もあるので相談はお早めに♪  
一方、消費税値上後の景気の落ち込みを回避するために次世代住宅ポイント制度が始まりましたが、今回はポイントを商品券に交換できないので、使い勝手が悪くなってしまいました。

荒木 勇



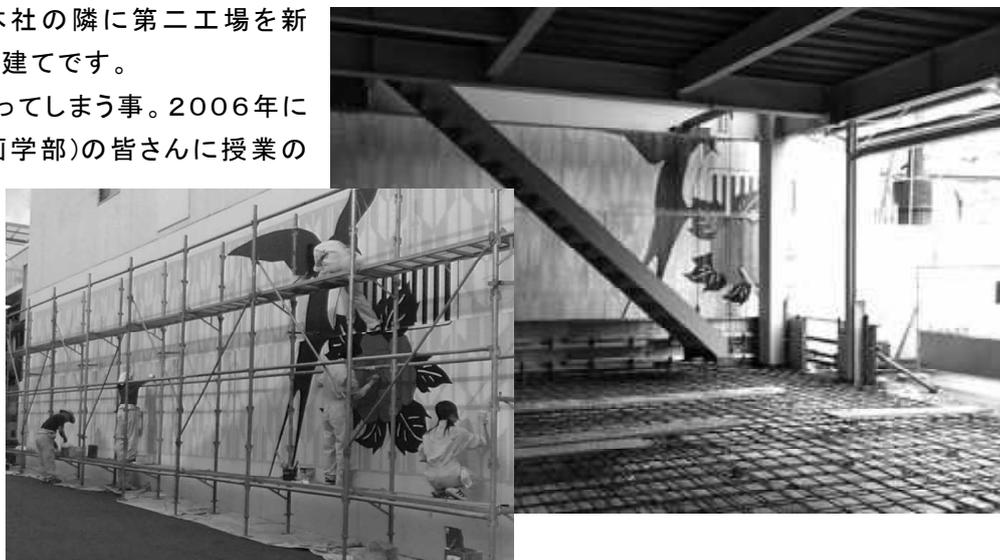
## 第二工場を新築中です

当社には、倉庫が2つあって、第一倉庫に構造材や羽柄材、第二倉庫に合板類や断熱材をストックしています。本社建物から少し離れていて、毎朝あっちに柱を取りに行き、こっちにベニヤを取りに行きというふうに結構手間がかかっています。その上、軽トラックが10台以上あるので、待ってる時間もばかになりません。

少しでも楽にならないかと、本社の隣に第二工場を新築することになりました。S造3階建てです。

一つ残念なのが壁画が無くなってしまいう事。2006年に京都精華大学漫画学科(現:漫画学部)の皆さんに授業の一環として描いていただいた壁画です。ここは、実はポケストップとしても活用されていたのです(キャタピーしかでません)が)。

その記憶を残すべく、現在記念Tシャツを作成しています。工事にお伺いするときは大工さんが着ているかも・・・

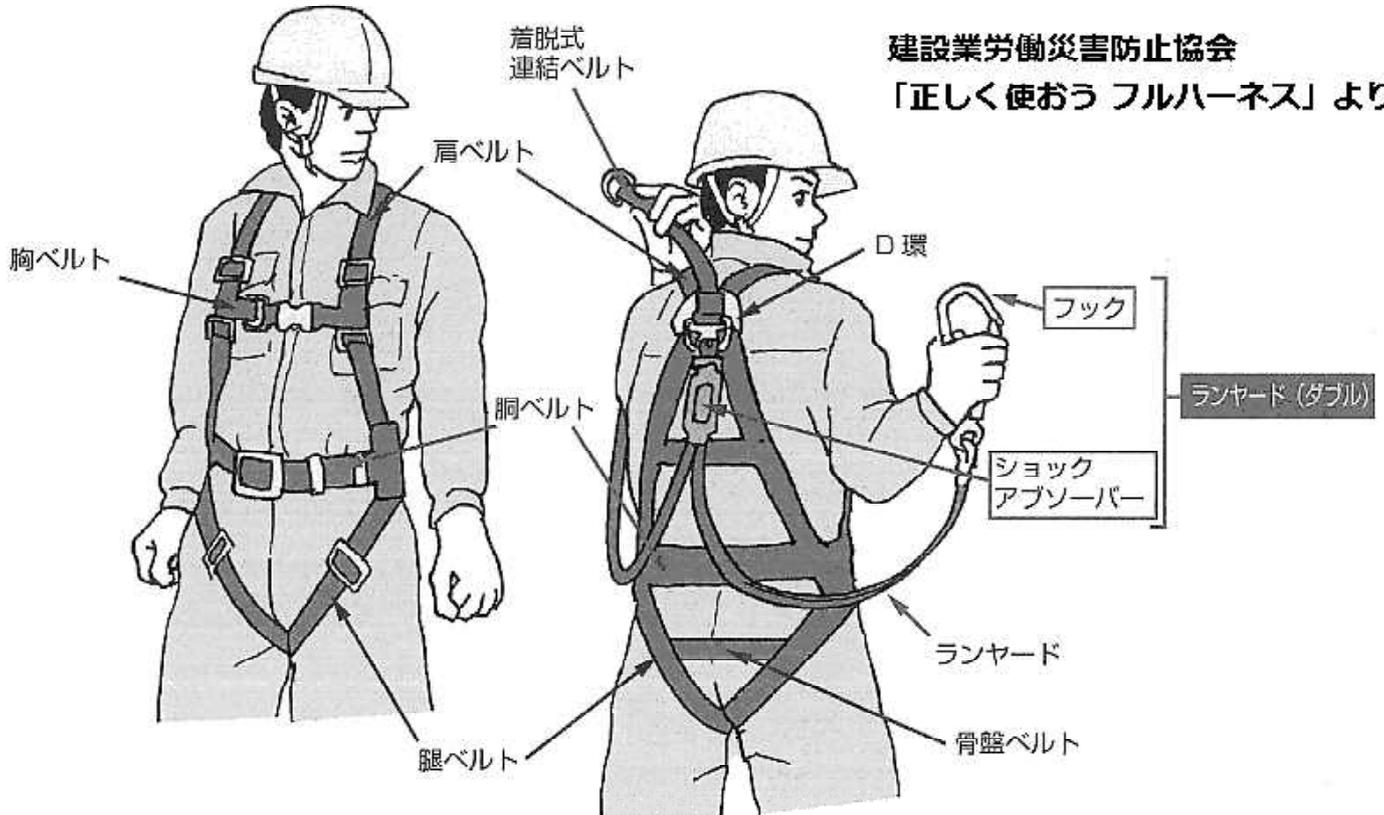


## 住まいについていろいろな話 第24回 「墜落防止用器具」

今回は建物の話ではなく、作業する人の安全に関することです。現場に入るには普通頭はヘルメット、足元は安全靴か地下足袋、動きやすい服装とすぐ出てきますが、足場の上での作業には、これに墜落防止用器具を装備しないとといけません。現在の建築はまず一番が安全です

建設業労働災害防止協会

「正しく使おう フルハーネス」より



建築現場での死亡事故のうち、「墜落・転落」が一番多く、労働局が監督指導を積極的に行っている分野です。建築には外部足場はつきもので、年々その安全度は高まっています。私が建築をやったころはまだ抱き足場という丸太を使った本当に簡単な足場でした。それから思うと今の足場は落下防止策がいたるところに施され、落ちない工夫がされています。その上、作業者はイラストのようなフルハーネスタイプの安全帯と墜落防止器具をつけ、足場の強固な部分にフックにて固定します。移動のときは二本のフックを交互にかけて安全を確保するようにして移動します。

弊社でも、現行規格品の安全帯は全員に支給していましたが、2022年1月には現在のものは使用禁止になり、新規格のより安全性の高いフルハーネス型に完全移行される予定です。少し前に足場講習会を開き講師を招いて講義を聞き、そのうえで全員に支給したのにもう規格が変わるとは、安全帯業者のセールスマンかと思えます。

旧規格と新規格の大きな違いはランヤードとよばれるロープ部分です。新規格は伸び縮みか巻き取りタイプのようになっています。車のシートベルトのように負荷が掛からない場合はスルスルと伸びて一気に体重が掛かるとストッパーが働き固定されるようになります。旧規格はロープがだらりと伸びたままなので足に掛かったり足場の金物に巻きついたりとかえって体制を悪くすることもあり不便でした。

さて、実際にこれをつけての作業の感想はまず動きにくい、固定金具のロープの範囲を超えるとフックを別の場所に付替える作業が煩わしい、暑い時期に安全帯を締め上げると余計に暑い(安全帯は身につけた場合ゆとりを持たせずに金物で締め上げます。これをしないと体が抜けて二次災害を起こすので)ナドナド、不自由さをいいます



が、第一の目的は落下を防止するものでまさに命の綱なのです。みんな文句を言うが、一度でもこれで落下が助かれれば感謝するはず。

昔を思い起こせば、ヘルメットをかぶらずにいて頭を打ち付けて血を流し、安全靴を履かずに歩き釘を踏み抜いてあまりの痛さに飛び上がったこともあります。今は頭と足はまず怪我をしません。ヘルメットと安全靴に大感謝です。いずれ墜落防止用器具もその様に感謝されることでしょう。

落下事故が無くなることを願って、今日も口喧しく全員に言っています。

村上 幸男

## 京町家を未来へ 京町家に関する支援制度について

京町家を取り巻く状況は日々大きく変化しています。年間数百件の京町家が再生されるようになり、京町家居住者の町家意識も10%から27%に向上したとのデータも公表されています。

その一方で、現在は年間800軒のペースで京町家が解体されています。特に最近では、市内の中心部でインバウンドによるホテル需要や、マンション用地などで、大・中型町家や連棟町家などが取り壊され、大きな空き地を目にする機会が増えました。例えば、京都市内最古級の町家(応仁元年1467年築伝)といわれた「川井家住宅」は跡形も無く解体され、市指定有形文化財である「川崎家住宅」の解体も目前に迫っています。



現存する町家も多くの課題に直面しています。相続の問題に始まり、建物の老朽化に伴う耐震性に対する不安、その不安を解消するための改修費の負担問題などです。問題解決の主体は民間であるべきですが、行政(京都市)も以下のような京町家等に対する保全・継承に活用できる支援制度を整えています(2019年6月現在)。

### ▶ 京都市都市計画室まち再生・創造推進室

#### □京町家保全継承担当 075-222-3503

- 1) 指定京町家改修補助金
- 2) 個別指定京町家維持修繕補助金
- 3) 京町家マッチング制度

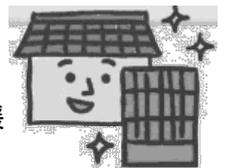
#### □空き家対策担当 075-222-3503

- 1) 空き家活用・流通支援等補助金
- 2) 空き家活用・流通支援専門家派遣



### ▶ 安心すまいセンター 075-744-1631

- 1) 耐震診断士派遣
- 2) まちの匠の知恵を活かした  
京都型耐震・防火リフォーム支援



### ▶ 京都市景観政策課 075-222-3397

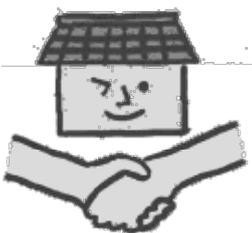
- 1) 景観重要建造物・歴史的風致形成建造物の指定
- 2) 上記に対する修理・修景工事の助成

### ▶ 京都市景観・まちづくりセンター 075-354-8701

- 1) 京町家なんでも相談
- 2) 京町家カルテ・京町家プロフィールの作成
- 3) 京町家まちづくりファンド改修助成

### ▶ 京都市文化財保護課 075-366-1498

- 1) 市登録有形文化財の指定
- 2) 京都を彩る建物や庭園の認定・選定
- 3) 上記に対する修理工事の助成



今後も各制度の充実や拡充が図られていくと思います。

町家の規模や、由緒沿革によって適用できる支援制度が異なる場合があります。お困りの際は、各担当課へ直接お問い合わせ頂くか、弊社までお申しつけください。

小野 敏明

## 昨年の台風21号の影響で瓦工事中



工事前



仮復旧



ただいま、工事中

去年9月4日に来た台風の修繕、年内で終わりそうにありません。簡単どころ、あるいは逆に、仮復旧でも雨漏りが直らないところから修繕をはじめています。

さて、写真の既存セメント瓦、すでに廃番です。割替できません。さらに、仮復旧で、修理したところ以外にもたくさん漏れています。また、3階建てなので、足場しないと修理できません。仮復旧にも足場がいましたが、残念ながら漏れが直りきりませんでした。

今も混んでいるのは、1瓦屋さん 2板金屋さん 3左官屋さん 4エクステリアさん 5防水屋さんなど、外部廻りの関係の職人さんです。まだ、下見にも伺っていないお客様、ならびに「去年お願いした台風の修繕がいつになるのか」と長く待っていただいているお客様、本当に申し訳ありません。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

荒木 智

## 木賊貼(とくさばり)

元米屋さんの『京町家 丹定』様から急遽、竹塀やり替え工事のご依頼を頂きました。

昨年の台風被害で大きく破損してしまったからです。仕様は、できれば元通りのしつらえに戻したいとのご意向から、木賊貼(とくさばり)を復元することになりました。木賊貼とは、半割の竹を削り合せ、節や丸味の癖を拾いできるだけ隙間なく貼り並べていく、高い技術力と何より根気が必要な仕様です。一般的には数寄屋造りに用いられますが、有名なところだと桂離宮や修学院離宮などでも使われています。

半割の竹を1本ずつ削りながら貼り並べていきますので、1日にそれほど進むわけではありません。ある程度想定はしておりましたが、総幅7m程を貼るのになんと1週間も掛かってしまいました。できるだけ上下の太さが揃っている竹を選定しておりますが、やはり上部が微妙に細くなっているのが下部の幅を基準に貼ると上部に隙間が開いてしまいます。その辺りの微妙な加減を1本ずつ形状に合わせて行います。



竣工

最後に名栗(手斧で表面に独特の削り跡を付ける工法)加工された六角の栗材で控えを設けました。できるだけ長持ちするよう

にとのご要望から、塀や控えの足元には延べ石を敷き木部を土間から浮かせアンカーボルトで引っ張りました。これで木部が腐りにくくなり、既存の塀よりも長持ちしてくれるはずです。

施工方法を検討し、しっかり手間隙を掛けた分、魅力的な塀に蘇ったと思います。

米沢 和也



現況



施工

## 化学物質過敏症 (CS) 対応改修工事

パハロカンパーナ自然住宅研究所さんからのご依頼を受け、化学物質過敏症 (CS) 患者さんのお宅の改修工事をさせていただきました。

住宅の気密性が高まった昨今、建材に含まれる接着剤や塗料などから発散されるVOC (揮発性有機化合物) が原因で、健康を害される方がいらっしゃいます。

今回の工事は、シックハウス症候群やCS対策について長年研究を積んでおられ、患者さんへのコンサルタントや、対応建材の開発・販売などを行っておられる、同研究所の足立所長のご指導のもと、施工をさせていただきました。



主な改修内容は以下の通りです。

- ・壁と天井のビニルクロスは撤去、壁から発生する化学物質を封止するために、アルミ箔を挟み込んだ特殊な壁紙に張替。
- ・和室は、既存合板天井からの化学物質を封止するため、天井はアルミシート張り、壁はニオイの少ない特別な消石灰を使用した漆喰で塗り替え、障子はコウゾ 100%の土佐和紙。
- ・浴室からの漏水で痛みがひどかった脱衣室は、VOC発散の少ない広葉樹の無垢フローリング (無塗装品) で張替、床下地にも杉の無垢板を使用。
- ・トイレは、既存クッションフロアを撤去し、ガルバリウム鋼板張込。
- ・換気扇は、外気の進入を防ぐタイプに交換、その他設備機器も、過去にCS対策として実績のある製品に取替。
- ・外気の進入や、訪問者から発散される化学物質への曝露を防ぐため、玄関ホールに間仕切り戸を設置、工事範囲外との境界にも間仕切を新設。
- ・化学物質を含んだ洗剤は一切使用せずに、内部全体 (壁、天井含む) のクリーニングの実施。

改修前は、過敏症でない者にもわかるほどだった可塑剤と芳香剤の臭いでしたが、工事完了後はかなり軽減されたように思います。

取り扱ったことのない材料や、初めての工法に、協力業者の皆さんにもご苦勞をかけましたが、わずかでもお施主さんのご負担が軽くなればと思います。

長崎 道

## 足場の組立て等作業主任者が3名誕生しました！

西川君と桜井君と、山脇さんです。おめでとう！

つり足場、張出し足場又は高さ5m以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業を行う場合において安全面などの監督・指導にあたる責任者となれる資格です。作業主任者不在の状態で行う事は違法となるので、取得してもらいました。

丸2日間講習を受け、最後に学科試験に合格しなければなりません。

結構ハードです。仕事をしていたほうが楽しいという意見も……。実は、8月に米沢君と小野君も受験することが決まっています(笑)。

### 足場の組立て等 作業主任者の職務

1. 材料の欠点の有無を点検し、不良品を取り除くこと。
2. 器具、工具、安全帯等及び保護帽の機能を点検し、不良品を取り除くこと。
3. 作業の方法及び労働者の配置を決定し、作業の進行状況を監視すること。
4. 安全帯等及び保護帽の使用状況を監視すること。

作 業  
主 任 者

## 聚楽壁の塗装工事

今年の3月から、京都市の某所にて借家の改修工事の担当をさせていただきました。工事範囲は水回りの風呂・洗面・トイレの改修と各部屋の内装工事です。

昔ながらの全部屋和室の家でしたが、全聚楽壁の塗り替えは予算的に少し厳しい……。ですので、今回は思い切って聚楽壁を上から塗装をして塗り替えたようにきれいに見せることにしました！

一見聚楽壁に塗装をすることは、自然材料の聚楽の利点である調湿性等をなくしてしまうので悪いことのように思われます。ですが、古く傷んだ聚楽壁をそのままにしてどんどん劣化が進むのを待つのではなく、一度塗装で膜を作ってやることで少しでも良い状態を残す事もできるのです。

ベニヤやボードを上から打って残すよりも柱等を傷つけず、余分な下地を取り付けないのでなおし！まさに茅葺屋根をトタンで覆い後世に残すようなイメージです(笑)。それに予算ができた際に塗装の膜をめくれば、

聚楽の塗替が可能です。

聚楽の塗替は基本コソゲを行うので、通常と同じ工程。無駄もありません。

水回りの改修も無事に終わりました。増築せず、狭いところに風呂洗面WCを使いやすく配置するのに手間取りました……。

一番悩んだのが、畳の和室から直接洗面室に入らないといけなところ。少し抵抗がありますが、式台を設けワンクッション置いて洗面室自体の床レベルを一段下げたことで、直接入るよりは抵抗も少なくなったように感じます。

細かい工夫でお施主様のより良い家に。さぁ今日もお仕事頑張ります！！

大久保 朋彦



工事中はなかなかの臭いが (>\_<)

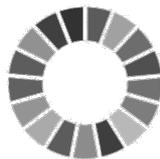


きれいに塗装が仕上がりました！



## 京都市さんの依頼で東京で講演をしてきました

「ソーシャル企業と考える京都移住転職計画」というイベントです。当社は『これからの1000年』に認定いただいたのでそのご縁です。いろんなご縁を大切にしたいです。



## 『町家をトーク』まだまだ続いています

町家の改修に携わる職人さんたちが語る連続講座。

2000年に四条京町家で始まり、今も続いています。

以前は当社会長が講師を勤めていましたが、今では社長にバトンタッチ。運営事務局の熱意には頭が下がります。



## 編集後記

編集2回目。監督一人一人、文章のトーンが違うのですが、あえて訂正しないで、違いを楽しんでもらうことにしました(笑)。

松原君が抜け、村上さんが専務を退任したあと、大変かなと思っていましたが、新人監督2名が頑張ってくれていて、大助かり。入社して1年が経過し、すっかり馴染んでフル稼働中(笑)。皆さんのお宅にお邪魔したときは、是非暖かく迎えてやってくださいね！

